

キャッチフレーズ

「明るいあいさつ しっかり返事 響く歌声」

せな



龍郷町立大勝小学校 学校便り 令和5年11月号
秋の夜長に…

校長 徳永 由美子

一日一日暮れが早くなり、ますます秋の深まりを感じます。肌寒いですね。でも、12月の持久走大会に向けて朝の体力づくりに取り組んでいる子どもたちの姿を見ると、この肌寒さも悪くないと思えるから不思議なものです。

先日、6年生に読み聞かせをする機会がありました。選んだのは、森絵都さんのぼくだけのこと。絵本です。人にはみんな、ぼくだけのことがある。うれしい楽しいぼくだけのこともあれば、悲しい辛いぼくだけのこともある。もしかしたら、うれしい楽しいことだけの方がいいと思うかもしれない。悲しい辛いことはない方がいいと。でも、この絵本は、そうじゃないと教えてくれます。どっちもあるからいいんだよ。どっちも自分。いいこともそうでないことも、自分の全部を受け止めよう。自分をちゃんと受け止めて、自分をちゃんと大事にしよう。そう教えてくれます。

秋の夜長、考えるともなしに考えていました。昨今、「子どもを褒めること『だけ』がいいこと」といった論調が、教師にも親にもあった気がします。しかし、果たしてそうでしょうか。もちろん、褒めることは大切なことです。でも、経験的には、だめなことはだめ、違うことは違うと言うことも、褒めるのと同じくらい大事な気がしています。ちゃんと見て、褒めるべきときに褒めるからこそ、その喜びが、子どもの心にずしんと残るのではないのでしょうか。私は私でいいのだと思えるのではないのでしょうか。

11月は、県民週間からスタートしました。たくさんの方が参観に来てくださいました。そして、たくさんのお話を語っていただきました。有難い言葉もたくさんいただきました。大勝っ子が、今も、五年後十年後も、ぼくだけのことを見つけて、その全部を受け止められますように…。父ちゃん母ちゃんと、じいちゃんばあちゃんと、地域のおじおばといっしょに、力を合わせていきたいと思うことでした。

【明るいあいさつ しっかり返事 響く歌声】これからも、学校教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

為(す) ろうち思(い)ば 為(す) ららん物(むん) や無(ね)ん
やってやれないことはない! まずは、実行あるのみ!! 失敗を恐れず、挑戦することが大事なんですな。

校内読書月間～楽しかった! 読書祭り～

11月は、「校内読書月間」です。毎日3冊本を借りることができるため、子どもたちは、普段よりも読書に親しむことができます。2日と16日には、先生方による読み聞かせを、11日には、読書祭りを行いました。読書祭りでは、多読賞の表彰や読書感想文の発表などがありました。また、親子読書会「お話玉手箱」の方が、読み聞かせをしたり、劇を披露したりして大変盛り上がりました。本当にありがとうございました。

秋の夜長に、テレビやゲームなどのメディアは少しお休みして、お子様と一緒に読書を楽しむ時間を増やしてはいかがでしょうか。



地震・津波に対する避難訓練

2日に、「地震・津波に対する避難訓練」を行いました。子どもたちは、放送をしっかりと聞き、机の下に潜った後、校庭に避難しました。そして、大津波を想定し、校舎の2階に避難しました。その後、教室に戻ってから、避難の方法についての動画を視聴し、理解を深めました。

いざというときに訓練したことを思い出して行動できることを願っています。



12月・1月の行事予定

12月	4日(月)	SSW来校
	7日(木)	持久走大会(9:35~), 学級PTA 家庭教育学級「人権教室」
	8日(金)	持久走大会予備日
	9日(土)	土曜授業
	10日(日)	第53回町ロードレース大会
	12日(火)	学校評議員会
	13日(水)	町学校保健研究大会
	15日(金)	SSW来校
	16日(土)	第5回子ども博物学士講座
	22日(金)	終業式
24日(日)	PTA迎春準備	
1月	1日(月)	元日(祝日)
	3日(水)	龍郷町二十歳の集い
	5日(金)	西郷南洲顕彰書き初め大会(午後)
	8日(月)	成人の日(祝日)
	9日(火)	始業式(給食あり)
	13日(土)	校内書き初め大会
	14日(日)	第53回西郷南洲祭奉納剣道大会
	16日(火)	鹿児島学習定着度調査(5年)
	17日(水)	スクールソーシャルワーカー来校
	19日(金)	スクールソーシャルワーカー来校
26日(金)	龍南中学校入学説明会(午後)	
27日(土)	町読書活動奨励賞表彰式 自由研究発表会・環境教育シンポジウム	
29日(月)	スクールソーシャルワーカー来校	

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

11月1～7日は、地域が育む「かごしまの教育」県民週間でした。期間中、保護者や地域の方など、多くの方が参観してくださいました。ありがとうございました。また、多くのご意見等を頂戴することができました。

今後検討・改善し、よりよい大勝小学校にしていきたいと思えます。



いのちを紡ぐBLS教育

11月20日に、5・6年生がBLS教育を学習しました。龍郷消防分署の方を講師としてお招きし、5年生は、奄美豪雨災害での結いの精神についての話や救命率、救急隊現場到着所要時間などについて、また、6年生は、心肺蘇生法の仕方やAEDの取り扱い方などについて学びを深めていました。

今回学んだことを忘れずに、実生活に生かしてほしいと思えます。



南日本新聞に掲載されました

なりがゆと平和
6年

新聞に「復帰七十周年」の見出しが載り、「七十」と書かれたTシャツを着た人を目にするようになった。そう、今年には奄美群島が日本に復帰して七十周年なのだ。
私を知るきっかけは、こども図書館の放浪館の志塾だ。「シマの研究者になろう」というテーマで、復帰運動について調べた。
その時初めて「なりがゆ」を食べた。ソテツの実を細かくして作る。味がなく、おかゆをもっと薄めたみたいだ。おいしいとは思えなかった。

でも、七十年前の奄美では、命をつなぐ大切な食べ物だったのだ。このなりがゆで空腹を満たしていた。私は悲しく心が痛んだ。
祖父がある日、言った。「七十周年ち、まつりごとにしとる（お祭りのようにしている）。そもそも戦争なんてしなければ、あんななんぎはせんでよかった。」と。
私は、復帰七十周年という節目に、祝う気持ちより、これらの奄美が平和であり続けるにはどうしたらいいか考えている。なりがゆを二度と食べることがないように。



奄美群島日本復帰
70周年